飯綱町議会だより

発行日
令和７年４月30日

VOL. 78

発行／長野県飯綱町議会

3月定例会の情報をお伝えします

新入生クラス発表（関連記事20p）

定例会・予算審議 …… 4
一般質問 …… 9
モニターアンケートにお答えします …… 16
新しい町づくりへ 私の提案 …… 19

町制20周年議会活動の充実を

―飯綱町議会が重点的に取り組む事項―

令和7年度事業計画

飯綱町PR
キャラクター
「みつどん」

(1) テーマの設定
(令和7年度重点的取組事項)

①議会新体制への移行に伴う円滑な運営
②議会ICTの推進
③議員研修の充実

(2) 令和7年度事業計画

①町民、各種団体との意見交換会・懇談会を開催
・テーマ（例）【議員のなり手不足対策・議会への要望等について】

②主な行事日程
・飯綱町町制施行20周年記念式典、講演会等への協力、参加
・小、中、高校での地方自治学習への協力
グループの話し合いに参加、議会傍聴（時期6月頃）発表会提言

③行政視察・研修会の実施（目的・場所・時期の決定）
・他町村等への視察研修と、委員会ごとにJIAMや市町村アカデミーへの研修も検討、オンラインでの研修会の検討

④議会政策サポーター事業（会議の開催と意見取りまとめから町への提言）

⑤政策提言等
・飯綱町管内県事業要望（長野建設事務所による現地調査）9月中
・令和8年度予算・政策要望書の提出9月末

⑥議会報編集委員会を常任委員会（仮称「広報公聴常任委員会」）とする検討（12月）

⑦近隣町村議会との連携他
・上水内町村議会正副議長連絡会（会長 令和7～8年度 信濃町）飯綱→信濃→小川
・上水内北部議会協議会（会長 令和6～7年度 飯綱町）

⑧令和6年度版飯綱町議会白書（早期の発行）
・議会改革シンポジウム（県町村会主催）
・議会基本条例の検証
・議会基本条例自己評価、議員のページ

⑨その他
・視察の受入
・モニターアンケート結果（要望・意見等の共有、回答）

議会政策要望

議会政策要望への回答（抜粋）

令和6年10月9日付で町へ要望したものの回答が令和7年3月3日にありました。

人口減少、少子高齢化時代にふさわしい住民自治を発展させるため「飯綱町まちづくり基本条例」を制定すること。

総務課　人口減少、少子高齢化が進んでも住民が暮らしやすく、幸せを実感できるような、まちづくりを多くの住民が強く望んでいると町は考えています。また、そういったまちづくりを進めるために、住民の声をしっかりと受けとめ、住民と共に考え、行動していくことが重要になります。住民自治は町づくりの根幹であることは間違いありませんが、自治基本条例の制定は、行政の押し付けでなく、住民と行政が共に深く理解し、自然と条例制定の機運が高まっていくものだと考えています。今後も引き続き、住民と共に考えてまいります。

国の「こども基本法」の制定及び関連する条例に沿い、子育て、教育に関する町の理念と基本政策を確立するため、多くの関係者から幅広く意見を聞くなどし、「子ども条例」を制定すること。

教育委員会　こども基本法により、我々地方公共団体に対しては、基本理念にのっとり、こども施策を策定・実施する責務が課されています。条例制定については、子育て支援全体の基本理念や推進方針を規定すると同時に、町のすべてのこどもの権利や保障、こどもの成長に応じた大人たちの役割（町、保護者、地域、事業者、教育施設関係者等）や、幅広い施策の推進体制を定めることが必要と考えます。条例の制定にあたっては、行政や関係機関、町民に対しても法的拘束力を持つことになるため、多くの関係者から幅広く意見をいただき検討していくことが重要と考えます。町、保護者、地域住民、事業者をはじめ、こども達が育ち学ぶ諸施設の関係者など、多くの関係者の機運の醸成が図られた時が条例制定の時期と考えますが、条例制定に関わらず、こども達の生きる力を育む教育とすべてのこども達がたくさんの幸せを手にし、実りある人生を歩めるよう、子育ち・子育て支援の充実を図ってまいります。

一定の人口減少が進み、集落機能、地域活力の低下が進む中で、集落創生をさらに推し進めるとともに、町として持続可能なコミュニティの仕組作りを強化すること。

企画課　集落創生事業が未実施の集落において、他地区の取組を知ることで、事業実施が進みやすくなると考えています。引き続き、地域おこし協力隊が発行する集落創生新聞や未実施地区へ出向いて先行事例を紹介しながら、集落創生事業を全町に広げていきたいと考えています。集落創生事業の効果は、住民が集落のことを自分事として考え、住民に当事者意識が生まれてくることだと考えています。地域を良くしていくことを、誰かがやってくれるのではなく、自分たちで行っていく。そういった活動の積み重ねが地域の誇り（シビックプライド）を取り戻すことになり、人口が減少しても集落の活性化や持続可能な地域づくりに繋がっていくと考えています。令和7年度当初予算案に、地域おこし協力隊費用を含め集落創生関連として、９９７３千円を計上しています。

財政を鑑み、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画を着実に実行すること。

総務課　今後は、個別施設計画で定めた各施設の方向性に従って、更新・改修等を実施していきます。なお、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されますので、必要に応じて適宜計画を見直し、特に将来の経費見込み等については、情報収集・更新に努めながら、更新・統廃合・長寿命化等を進めていきます。

当町全域が過疎地域に指定されているが、人口増を目指し、当該事業を推進すること。

企画課　計画に基づき、過疎対策事業債など国の財政措置を活用しながら、地域資源の活用、人材の育成等により、地域活力を向上させ、飯綱町全域での持続的発展、過疎からの脱却を目指していきます。令和7年度当初予算案では、過疎対策事業債で３９３０００千円の借り入れを予定して事業を実施します。なお、現在の「飯綱町過疎地域持続的発展計画」は、令和3年度～7年度までが計画期間となっており、新年度はその最終年となります。令和7年度においては、令和8年度から12年度までの5ヶ年の計画を新たに策定することになりますが、現行計画の更新を基本としつつ、新たに必要な事業や施策等については、次期計画の中に盛り込み、引き続き過疎対策に取り組んでいく予定です。

定例会　陳情

3月定例会は、3日から21日までの19日間の会期で開催された。条例20件、予算15件、その他14件、諮問1件、を原案どおり可決し陳情1件を不採択とした。
発議6件は否決とした。
一般質問には、6人が立ち町政を質した。

条例

○小水力発電を設置

小水力発電施設の設置及び管理等に関する条例（議案第11号）―可決

芋川用水に小水力発電所を整備したので、施設の設置及び管理に関し必要な事項を定めた。

基金条例の一部を改正する条例（同19号）―可決

小水力発電施設整備基金を加えた。

○りんごっ子保育園の定員を増加

保育所条例の一部を改正する条例（同24号）―可決

りんごっ子保育園の定員を60人から90人に変更した。

公の施設の指定管理者の指定について6件（同38号から43号）―可決

指定管理者に管理を行わせようとする施設の名称　牟礼駅前第1駐車場、牟礼駅前第2駐車場、牟礼駅前第3駐車場及び牟礼駅前第4駐車場

指定管理者となる団体の名称　一般社団法人飯綱町観光協会

指定の期間（全てが該当）

令和7年4月1日から令和12年3月31日

以下同様に、

・飯綱町多世代交流施設は、社会福祉法人飯綱町社会福祉協議会
・飯綱町小規模多機能型介護施設は、株式会社ニチイ学館
・飯綱町デイサービスセンターふれあいの郷は、社会福祉法人飯綱町社会福祉協議会
・飯綱町総合福祉施設ひだまり園は、社会福祉法人飯綱町社会福祉協議会
・飯綱町三水農林畜産物直売施設及び付帯施設　飯綱町横手農林畜産物直売施設及び付帯施設　飯綱町三本松農林畜産物直売施設及び付帯施設飯は、有限会社飯綱町ふるさと振興公社

人事―可決

人権擁護委員　寺島茂氏

補正予算

既定予算を2598万円減額して総額を99億3393万円とした。

主な歳入
・地方交付税　9640万円
・国庫支出金　△1783万円
・繰入金　△4739万円
・町債　△4920万円

主な歳出
・減債基金積立金　2530万円
・緊急自然災害防止対策事業　△3000万円
・橋梁長寿命化修繕事業　△1300万円
・予備費　△4116万円

陳情

「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情（陳情第3号）―不採択

政府に、最低賃金を全国一律制度に改正すること、最低賃金1500円の実現。中小業者、観光業、農林水産業への支援を国の義務とする条項を最低賃金法に設けることを求めている。

○賛成討論

渡邉　千賀雄

この陳情は町民にとってどう影響するか。町の農家は主に家族農業であり、半農半X状況だ。賃金を引上げることは家族経営にとってもいいことだ。人を雇う場合は、賃金の引き上げができ、経営が継続できるよう、求める内容だ。

伊藤　まゆみ

物価高騰が続き住民生活を圧迫している。非正規雇用やフリーランスなど弱い立場の労働者は深刻です。
最低賃金1500円を実現することは、厳しい環境で働く人々の願いであり、若者の未来がかかっている。

○反対討論

樋口　功

「全国一律賃金」は地域の物価差が大きい日本にはそぐわない。また、高額な最低賃金要求に対し、現実として多くの中小事業者・農業者が支払える状況にない。緊急性及び実現の可能性がない陳情であり、反対。

発議

議長不信任決議 ―否決

12月定例会最終日、議員定数に関する条例の一部を改正する条例の採決時、賛成6、反対6にもかかわらず起立多数と発言し、可決を宣言した。これは、採決結果を意図的に捻じ曲げた議長独断であり、議員の採決権を否定した。全国的に例をみない裁決である。

また、議案の提出者の特別委員会名が正式名称と異なっており、訂正されていない。及び、議会報でのこの議案の記事が、議事録と異なって記載されている。

議長は、発行責任者であり、町民に正確に知らせる義務に反する。

以上から、青山議長は資格も資質もなく、自ら議長を辞すべきだが、辞表は提出されていない。よって、議長不信任決議を提出する。

○賛成討論

中井　寿一

議会は、ルールに基づいて運用するべきと教わってきました。議長は、率先してルールを守るべきと思うので、議長不信任決議に賛成します。

○反対討論

渡邉千賀雄

議長採決の宣告の際における進め方・言い回しに瑕疵があったといえる。しかし、こうしたことが繰り返されたことでもなく、対外的、社会的に問題を起こしたことでもない。こうしたことをもって議長の資質に欠けるとは言い難い。よって採決に当たって退席する。

石川　信雄

議長の裁決方法に瑕疵があったことは認識してはいるが、それを理由に議長の罷免を求めることには同意できない。

樋口　功

議長は就任以来、当議会において、その責務を十分果たしてきた。

12月議会の一部事件で地方自治法第116条（表決）による採決の際に不適切な面はあったが、議決に影響はなく、これをもって議長不信任が妥当とは言えない。

三ツ井　忠義

青山議長が辞めちゃうとやる人がいないと思うし、みんな同じ人間なんだから青山議長にやってもらいたい。同じ人間なんだし、人間も動物だけど。

伊藤　まゆみ

当該の採決は、議会のルールに則っていない。議場で行われる議決の可否は大変重い。公の場で行ったことは公の場で謝罪いただきたかった。反省の弁も述べず議長を続けることに納得できないので、採決時は退席する。

瀧野　良枝

手続きの瑕疵はあったが「意図的に捻じ曲げた」「独断的表決」との内容には客観的根拠がない。議事で重大な瑕疵を重ねた、議長として相応しくない言動があった等、住民生活への多大な影響は思い当たらない。

令和7年度予算を可決

一般会計　94億8000万円(過去最高)
特別会計　28億　889万円(7会計)
企業会計　57億1742万円(3会計)

一般会計

歳入

過疎債の延長

Q　企業会計で5億3400万円だが、再度の延長の可能性はあるか。

A　過疎法は、10年の暫定法律。10年で人口の減り方が大分小さくなりましたという数値が出れば、そこで外れる。過疎からの脱出を目標に進めている。

歳出

Q　カンマッセいいづなへの業務委託の総額は。

A　随意契約の条件等もあり、現在確定しているもので1億2000万円から1億3000万円ほどの予定。

総務費

福井団地郵便局の今後は

Q　現在、町で管理しているが、日本郵便株式会社に運営してもらうのは可能か。

A　日本郵便株式会社長野支局に問い合わせたが、簡易郵便局事業の受託はしていないとのこと。受託してくれる民間企業を検討する。

しなの鉄道への支援の詳細は

Q　鉄道軌道安全輸送設備事業で整備費用を補助しているが、町はどこまで負担すべきなのか。

A　新年度は、Suicaの導入経費と緊急対策に要する経費。国の補助金を活用して整備する事業に対する補助で、県と沿線市町村の合意のもとに、補助の可否や補助の割合を決めている。

牟礼線廃止後は10人乗ワゴン車を運行

Q　長電バスの「牟礼線」廃止に当たっての代替移動手段の検討状況は。

A　長野市や交通業者と協議を進めているが、10人乗ワゴンタイプ車を運行させる案を検討している。既存バス路線と電鉄駅で乗り換えできるよう新しい運行経路の構築を調整している。

▲廃止後も安心して暮らせるよう検討中

メンタルヘルス研修は

Q　監督者のメンタルに関する研修が必要と考えるが予定はあるか。

A　メンタルに特化した研修の計画は、今のところない。市町村職員センターで行われる研修にメンタルの関係の上司としての在り方等のメニューがある。

民生費

子ども計画の対応は

Q　子ども基本法に基づく町の子ども計画の策定が義務付けられているが、対応は。

A　現在、第2期飯綱町子ども子育て支援事業計画を実施中で、令和7年度からの第3期計画を作成している。

Q　精神保健普及費に、ひきこもり対策は該当するか。

A　事業自体は、福祉係の重層的支援の中で実施。訪問する中でひきこもりに該当する方もいるため保健師として関わっている。

衛生費

Q　猫繁殖制限補助金を、長野市に倣って手厚く補助金交付をとの陳情があった。どう対応したか。

A　近隣や県下市町村の補助金額をベースに設定。

令和6年度の補助実績は、去勢手術16頭、不妊手術27頭。住民等からの補助金額の増額の意見・要望はない。

商工費

東高原のグラウンド等の整備は

Q　東高原のグラウンドやテニスコートの整備費用はないが、検討しているか。

A　整備費用等の具体的なことは、来年度以降の東高原エリア検討委員会で検討していく。

消防費

固定式マンホールトイレの詳細は

Q　指定避難所である三水B&Gに固定式マンホールトイレを設置するとのことだが。

A　災害時、下水道が使用可能であれば、プールの水を使って下水道に流す想定でいる。避難者500人、3日間の使用を想定した貯留槽も設置する予定。移動式のトイレカーは、平常時の維持管理や利用方法を含め検討していきたい。

広域消防費チェックは

Q　広域消防費が、毎年増加している。金額のチェックも必要ではないか。

A　負担金の増加には、人件費の増加と車両や無線設備等の機械類、施設設備の老朽化が影響している。

今後も、高機能消防指令情報システムの更新や、鳥居川消防署等の改修などのプラス要素がある。

教育費

Q　小中学校管理費で、支援員と介助員の違いは。

A　支援員は教員免許を有する者、介助員は学習支援ではなく支援学級の子などへの医療的ケア、生活上の介助支援で資格の有無を問わない。

Q　加配の人数は。

A　公務技手まで含め牟礼小10名、三水小8名、中学校7名を予定。

Q　空き家等除去補助金50万円2棟分、地区はどこか。

A　本年度、空き家対策の関係で全町の調査を行い、空き家と思われる戸数は約300戸あった。

特定空き家（周囲の環境を害するような家屋）をもう一度精査し補助金を交付する。町内にはたくさんあるので、要望があればニーズに応えていきたい。

令和7年度一般会計予算

○賛成討論

渡邉　千賀雄

第2次総合計画に向けて、人口減少課題、地域の農業支援、健康・福祉増進等に、住民要望の実現を取り入れた予算といえる。

ふるさと寄付金や過疎債を有効に使い「住んでいてよかった」と実感のできる町づくりを町民は期待している。

風間　行男

商工業補助金新規創設、農業用機械・設備補助金等農業支援拡充で維持可能な支援策が予算化されたので賛成する。

特別会計

後期高齢者医療特別会計

○反対討論

伊藤　まゆみ

収入の大きくない75歳以上を囲い込み、加入人口が増えれば保険料が上がるシステムになっているのは問題だ。加入者からは、負担が大きいという声が寄せられている。

企業会計

病院

Q 診療単価が近年と同じくらいだ。強化プランの中で大事なことは、診療単価をいかに上げるかだが。

A 入院では、基本の診療単価にもろもろの検査等で3万4000円。新設予定の通期包括ケアの入院は、およそ3万円弱。（リハビリ又は処置、検査等が包括されている）今や病院は患者さんから選んでいただく時代。いかに選んでいただけるか、飯綱町のために存在している病院をどう活用していくかを考慮しながら、地域の医療、福祉関係者と連携及び院内においては接遇の改善を重要に考え積極的に取り組んでいきたい。

Q 患者数が減っているとのことだが、医師の数も減っているのか。

A 医師の定数は保健所で管理しているが、外来患者数、入院患者数から割り出した必要医師定数がある。

一時、標欠という医師がいないという非常に厳しい時期を乗り越えてきている。コロナ禍患者数が激減したことで医師の定数自体が下がっており、今の充足率は140％ほどになっている。

水道事業会計予算

○反対討論

伊藤　まゆみ

国が水道料の住民負担を引き上げなければ補助金を出さないとのことで、水道料が引き上げられた。水が無くては私たちの生活は成り立たない。引上げた水道料金により編成されている。

企業会計 他

令和７年度予算重点事業（新規）

（単位：円）

■ **町制施行20周年記念事業**

総務課	町制20周年記念式典、祝賀会	￥1,849,000
企画課	町制20周年記念イベントの実施	￥9,210,000
	町制20周年記念講演会経費	￥1,160,000
	町制20周年記念に掛かる広告費	￥1,650,000
	町制20周年記念誌発行費用	￥825,000

■ **住もうプロジェクト事業**	人口増推進室	関係人口創出事業業務委託	￥11,000,000
■ **総合計画策定・進捗管理事業**	企画係	第３次総合計画策定業務委託	￥7,678,000
■ **特定地域づくり協働組合事業**	企画係	特定地域づくり協働組合運営等補助金	￥10,000,000
		特定地域づくり協働組合への出損金	￥4,500,000
■ **地域農業担い手育成・支援事業**	農政係	農業機械導入事業補助	￥5,000,000
■ **商工振興対策事業**	商工観光係	店舗等リフォーム支援補助金	￥4,500,000

■ **都市計画事業策定費**

維持管理係　飯綱町都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定業務委託料 ･･ ￥11,000,000

■ **防災対策費**

危機管理室　指定避難所（三水B&G）マンホールトイレシステム設置工事等 ･･ ￥28,900,000

■ **小学校情報システム費**

総務教育係　GIGAスクール一人一台端末整備（２小学校・473台）･･････････ ￥28,380,000

■ **中学校情報システム費**

GIGAスクール一人一台端末整備（中学校分・総台数261台）･･････････････ ￥15,660,000

■ **運動場管理運営費**　生涯学習係　ゲートボール場人工芝化工事請負費 ････････ ￥20,000,000

特別会計

■ **小水力発電事業特別会計**　耕地林務係 ････････････････････････････････ ￥7,150,000

令和７年３月定例会賛否一覧　（○賛成　●反対）

種別	議　案　名	表決結果	三ツ井忠義	中井寿一	小林文廣	瀧野良枝	渡邊千賀雄	中島和子	樋口功	風間行男	目須田修	石川信雄	清水満	大川憲明	伊藤まゆみ	原田幸長	青山弘
動　議	議長不信任決議	否決	●	○	○	●	棄	●	●	○	○	●	●	○	棄	ー	除斥
議案第10号	飯綱町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の特例に関する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第11号	飯綱町小水力発電施設の設置及び管理等に関する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第27号	令和６年度飯綱町一般会計補正予算（第７号）	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第29号	令和６年度飯綱町水道事業会計補正予算（第３号）	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第30号	令和６年度飯綱町下水道事業会計補正予算（第３号）	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第31号	令和７年度飯綱町一般会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第32号	令和７年度飯綱町からまつの丘地区汚水処理場管理事業特別会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第33号	令和７年度飯綱町訪問看護ステーション特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第34号	令和７年度飯綱町国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第35号	令和７年度飯綱町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	●	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	－
議案第36号	令和７年度飯綱町介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第37号	令和７年度飯綱町住宅地造成事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第38号	令和７年度飯綱町小水力発電事業特別会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第39号	令和７年度飯綱町水道事業会計予算	可決	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	－
議案第40号	令和７年度飯綱町病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第41号	令和７年度飯綱町下水道事業会計予算	可決	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	－
議案第42号	飯綱町地域防災計画の変更について	可決	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第43号	工事変更請負契約の締結について	可決	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第49号	飯綱町公の施設の指定管理者の指定について	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第50号	町道路線の廃止について	可決	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第51号	町道路線の認定について	可決	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第52号	飯綱町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第55号	損害賠償の額の決定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
諮問第１号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
陳情第３号	「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	不採択	●	●	○	●	○	●	●	●	○	●	●	●	○	●	－
発議第１号	飯綱町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
発議第２号	私設の議会報編集調査特別委員会を禁止する決議	否決	●	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	－
発議第３号	議会だよりの内容を詳細にする決議	否決	●	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	－
発議第４号	議会報編集調査特別委員会を有償にする決議	否決	●	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	－
発議第５号	議会報編集調査特別委員会を解散する方法を定める決議	否決	●	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	－
発議第６号	議会報編集調査特別委員会を解散する決議	否決	●	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	－
発議第７号	議会報を外注する決議	否決	●	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	－
	小林文廣議員の議会報編集調査特別委員会の辞任	不許可	●	○	除斥	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	●	－
	中井寿一議員の議会報編集調査特別委員会の辞任	許可	○	除斥	○	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	●	－

※全会一致で可決の議案は紙面の都合上、掲載していません。詳細はホームページで確認してください。
※動議の件　議長不信任が議決の形をとることが一般的であるが、議会という意思決定機関の単なる事実上の意思表示であるにとどまり、法的には何らの効果も生じない。

一般質問

令和7年度予算他、教育関連は

中井寿一（なかい ひさかず）―― **10ページ**
- フリースクール関連の補助を
- 信濃毎日新聞の報道は
- 新聞折込の代替手段は
- 単身者の移住支援を
- 政務活動費は

渡邉千賀雄（わたなべ ちかお）―― **11ページ**
- 令和7年度予算は

原田幸長（はらだ ゆきなが）―― **12ページ**
- 帯状疱疹ワクチン接種への助成を
- GIGAスクール端末の更新は

瀧野良枝（たきの よしえ）―― **13ページ**
- 子どもの貧困解消に向けた町の取組は
- 「部活動の地域移行」に向け早期対策を

大川憲明（おおかわ のりあき）―― **14ページ**
- 長野広域連合で建設される（一般廃棄物）最終処分場の決定方法は

伊藤まゆみ（いとう）―― **15ページ**
- iバスの利便性の向上を
- 町独自の奨学資金制度の充実を

- **一般質問は**、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、**ホームページ**、**議事録**でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は**各議員が責任**をもって編集しています。

傍聴席

議会の質の向上を

生田（北條）明子さん（坂口）

私の生家は鳥取県で、県知事や県議会議長、町長、村長を輩出してきた政治家一家。幼い頃から政治が身近にあり、政治に自分なりの考えを持つ生意気な女性に育ちました。

一般質問は、行政を担う者と、納税し行政サービスを受ける住民の代表である議員が対話する貴重な場であり、議会制民主主義の根幹です。議会の質は、議論の深さ、議員の資質、行政職員の責任感によって左右されます。

しかし、前回の選挙は無投票で終わり、議員の資質を問う機会がありませんでした。今秋には改選が行われます。今回、一般質問を拝聴し、改めて選挙の重要性を強く感じました。

議員には、日本の法体系を踏まえ、情緒的にならず、事実に基づいた客観的視点で質問し、「全体最適」「個別最適」のバランスを考えながら議論の質を高めてほしいと思います。それが結果として、議会全体の質の向上につながると期待しています。

一般質問

フリースクール関連の補助金は

町長▶ 出す考えは全くない

中井　寿一

フリースクールへの補助金は

中井 町内のフリースクールの一つであるOZfieldが解散した。資金繰りの悪化が原因である。通っていた子どもたちは、安住の地を離れることになった。生徒21人中5名は飯綱町の子どもだった。

町内のフリースクールは、金儲けが目的ではない。生徒5人に付き先生一人、月謝が4万円でも20万円にしかならない。学校の維持管理費等を差し引くと、町会議員の報酬より低くなる。

▲OZfieldが入居していた旧牟礼西小学校（現いいづなコネクトWEST）月額104,000円

町は、小学校関係の費用として年間2億4千万円を支出している。小学校に在籍しているが、実際に子供の教育を担っているフリースクールに補助金が支払われないのは、不公平ではないか。町内から通っている人数分（一人56万円）の補助金を出してもいいのではないか。

町長 町が小学生に掛けている金額をフリースクールに出す考えはない。

フリースクールに通う家庭への補助金は

中井 長野市では、多様な学びの場や居場所を確保することを目的に補助金を出している。町でも出さないか。

教育長 今年度中に結論が出るように検討する。

信濃毎日新聞の報道への対応

中井 1月3日からの信濃毎日新聞の記事により、飯綱町の印象が悪くなった。事実とは異なる個人の主観が強調され、そのレベルはSNS並である。強引に記者の主張を盛り込んだようにも見える。町の対応は。

町長 新聞記事に多くは求めない。もっと日本一女性が住みたくなるってこういうことなんですよというように、皆さんにもっと深く理解してもらえるように、あらゆる手段を講じてPRに取り組む。

新聞折込の代替手段は

中井 近年、新聞の購読者が減り、新聞の折込で届けられない家庭が増えた。有料でもいいから町の広報誌と一緒に配布できないか。

町長 しない。いい機会なので、ご自分で一軒一軒回ってください。

独身者の移住支援は

中井 独身者の移住について相談を受けた。主な補助金は、二人以上の世帯に限定されていた。独身者向けの補助金はあるのか。

企画課長 色々と要件があるが、UIJターン就業・創業移住支援事業補助金とU・I・Jターン者等奨学金返還支援補助金がある。

▲飯綱町若者U･I･Jターン者等奨学金返還支援補助金

▲飯綱町UIJターン就業･創業移住支援事業補助金

政務活動費は

中井 先日の全員協議会において、町長は、政務活動費は月1万円を超えても年間12万円以下であれば良いというつもりで条例を作成したと言っていた。そして、今後、条例を見直すと言っていた。見直しの予定は。

町長 議員報酬を大きく増やしたので、6月定例会で、廃止も含めて提案する。

一般質問

来年度の各課の重点施策は

町長▶　子供の医療費８月より一切窓口無料

渡邉千賀雄 議員

今任期最後にあたる予算を編成されたが

渡邉　町制20周年に当たる今任期最後の令和7年度の予算を編成された。峯村町政の集大成ともいえる予算だと思うが、予算の編成方針と重点施策を伺う。

町長　人口減少を止める、デジタル化の推進、住民サービスの向上等。各課と相談し指示した。

党議員団として、予算と施策に対しての要望書を提出してきたが

渡邉　現在の物価高から町民の生活を守る施策は。

町長　商品券一人4000円配布、医療費窓口無料、住宅リフォーム補助等。

渡邉　生産資材高騰から農業支援策は。

町長　農機具の購入補助、りんごの苗木補助、土に戻る黒マルチ補助等の実施。

渡邉　商工業の経費高騰から、営業を守る施策を伺う。

町長　店舗リフォーム補助、創業費用に200万円補助、新規の就業後継者に年間30万を2年間補助等。

▲子供（18才以下）の医療費窓口完全無料化

各課長に伺う。方針と、重点施策は

渡邉　この間、質問してきたことが、実現されるのかも併せて伺う。

総務課長　①10月に、町制施行20周年記念事業。②地域防災計画の見直し。③ふるさと納税事業の推進。

企画課長　夜間タクシーを牟礼駅前に配置、平出地区の町有地に上下水道の整備、過疎地域から脱却に2000万円、等。

教育次長　GIGAスクール端末の更新、小学校の体育館の空調工事他。

税務会計課長　評価替えの事務、事務的な経費のみ。

住民環境課長　マイナカード関連の各種業務、充放電設備等のシステム設置への補助等。

保健福祉課長　子供の医療費の窓口無料化を8月より実施。認知症政策推進計画の策定他。

産業観光課長　農地の地域計画化、農業者の支援、りんごを活用した町づくり、商工会と地域活性化懇談会、飯綱東高原エリアの活性化。

建設水道課長　栄町交差点付近の改良、水道水源を表流水から深井戸への移行、モデル地区にスマートメーターを導入、下水道老朽管路内のカメラ調査等。

▲改修工事が進む用水路（間奈入川・芋川地区）

リンゴの収穫量と質の確保が重要だが

渡邉　ふるさと納税でのリンゴが好評だ。日本一のリンゴの町を目指し、量と質の確保が課題だ。リンゴ生産農家の作業過重負担をなくすことが必要だ。半コンテナの導入は。

町長　補助事業の導入に合わせて検討していきたい。

一般質問

任意でのワクチン接種 助成是非とも

町長▶ 要望に応じてもう一度検討したい

原田幸長 議員

帯状疱疹の任意ワクチン接種助成は

原田 本年4月から帯状疱疹ワクチンの定期接種が開始される。帯状疱疹の任意でのワクチン接種助成についての見解は。

保健福祉課長 定期接種時には、町から7割ほど助成。自己負担分は約3割程度を想定している。帯状疱疹の発症が低年齢化していることで、50歳・55歳などで他の町村の動向を注視し検討していく。

原田 任意でのワクチン接種、自己負担を軽減するために、助成を是非とも考えて欲しいが。

町長 莫大な予算が必要で導入できない金額ではないと承知している。県内21市町村が実施している事なので、もう一度検討してみたい。

原田 定期接種での自己負担額は。

保健福祉課長 生ワクチンで3千円。不活性化ワクチンで1回分は7千円。2回打つ必要があるため合計は1万4千円。町からの補助は、生ワクチンで5860円。不活性化ワクチンで1回分は、15060円。2回分は、30120円となる。

▲65歳からの帯状疱疹ワクチンの定期接種開始

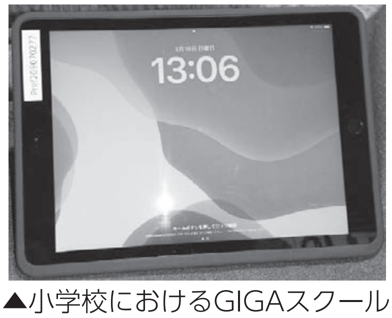
適正なGIGAスクール端末の更新を

原田 GIGAスクール端末の更新が本年から始まる。更新スケジュールと新たに調達する端末及び廃棄する端末の台数は。

教育次長 県教育委員会から依頼を受けた長野県市町村自治振興組合が、各市町村の共同として行う電子自治体の推進に関わる事務を行い、調達を行っている。4月中に選定業者と市町村が契約する予定。令和2年度に整備した合計が775台。更新予定台数は、小学校で473台。中学校で261台。合計734台が更新。残りの41台は教師用や予備用の端末であることから資源の有効活用の観点で再利用するもの。

原田 児童生徒が使用してきた端末には、個人情報が保存されている可能性がある。適正な端末処分・データ消去等をどう図るか。

教育次長 使用済み端末は都市鉱山と呼ばれるレアメタル等の有用な金属が含まれ、金属資源の枯渇リスクが顕在化する中、適正に処理、又は最新化を推進する事が重要。当該端末を廃棄する場合、産業廃棄物になるため、排出業者には処理の責任がかかる。小型家電リサイクル法に基づく認定業者か、資源有効利用促進法に基づく製造事業者への処理委託が適正な端末処分・データ消去となると考える。



▲小学校におけるGIGAスクール端末 R２年度配備

部活動地域移行

活動の広域化　移動支援策を

教育次長▶ 信濃町、長野市豊野のエリアで検討

瀧野良枝 議員

現状分析と対策を

瀧野 アンケート等による問題把握は。

教育次長 送迎の負担、指導者の不足、人数不足で試合に出場できない、ボランティアの指導で継続できない、活動できない子どもが出る等の意見をいただいた。

瀧野 飯綱中学校の部活動・クラブ活動加入率は、過去2年に比べ令和6年では2割減少。（グラフ参照）潜在的ニーズは高いが、選択肢が狭まったのでは。

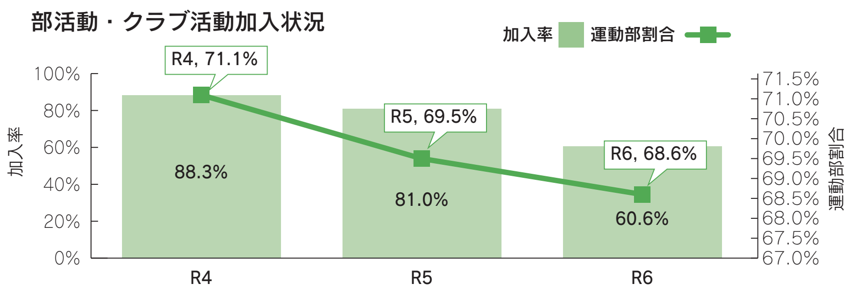
教育長 生徒数の減少で教員数が減り、部活の数が縮小。校外活動も増えている。数値だけを見て意欲の高低は断定できないが、活動したいのに場所がないという事のない様に考えたい。

瀧野 指導者の地域人材の確保、県のリストの活用、兼職、兼業希望の教員は。

教育次長 地域では、スポーツ団体、ジュニア関係者、スポーツクラブ等に協力依頼。県のリストは、町との重複、競技内容など確認し、利用したい。兼職、兼業希望の教員は聞いていない。

瀧野 指導者の質的問題について、日本スポーツ協会の認証制度が報道されていたが、町独自のハラスメント、コンプライアンス研修の実施など、クラブチーム任せではない対策を。

教育次長 重要と考える。町独自の研修と、県・日本スポーツ協会の研修等へ参加するようにしたい。



▲飯綱中学過去３年間の状況　「活動の場の確保を」

保護者の負担軽減 持続可能な方策を

瀧野 保護者の費用負担について、従来より負担が増えることの理解を進めることも重要だが、県のガイドラインでも各自治体に会費の低廉化を求めている。本年度の国の実証事業の内容と効果は。

教育次長 信濃町の小中学校との合同部活のためのスクールバス運行と消耗品購入。保護者の負担軽減に繋がった。

瀧野 持続可能な方策を。

教育長 専門の人員を配置し体制を整える。

活動広域化 移動支援策を

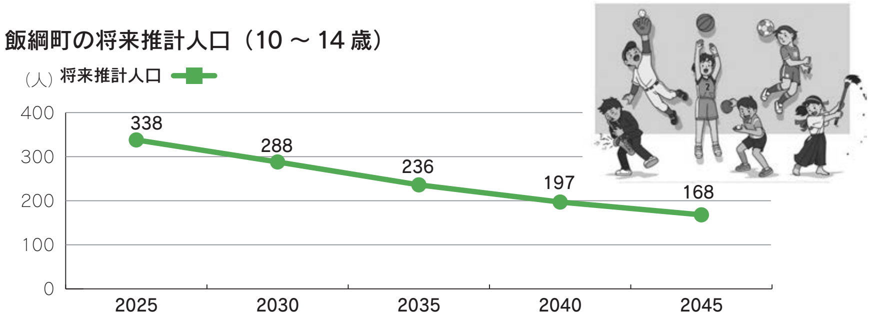
瀧野 活動の広域化と移動支援は。

教育次長 アンケートでは、合同部活の希望は、信濃小中学校が約60％、豊野中が約25％。町内で活動することを主に、移動支援の範囲としては信濃町、長野市豊野のエリアで検討したい。

瀧野 町内での活動拠点が整わず、公共交通機関を利用して長野市等で活動している生徒への補助は。

教育長 実態調査も含め、対応を検討したい。

※子ども貧困対策について、「母子世帯への柔軟な支援体制」「地域での居場所づくりの支援体制の強化」等を質問しました。



▲社人研による将来推計　「広域化は必須」

一般質問

長野広域連合

最終処分場の決定方法は

町長▶ 地元区民の同意を得るまで説明する

大川憲明 議員

進捗状況は

大川　現在の状況は。

課長　令和6年度は、関係地元区長に対し最終候補地決定までのスケジュールを提示し、令和7年度には町で選定調書を作成するため、建設候補地選定における地元区の意向や具体的な意見、要望等を事前に集約するよう依頼してきた。今後については、関係地元区への正式な意見集を依頼する。また関係地元区の意向等については、広域連合に提出する選定調書に取りまとめ、町として最終候補地の受け入れが可能かどうかを含め、本年11月28日までに広域連合長に提出することになっている。

大川　黒川区では、最終処分場設置反対署名書を、町部局に提出してある。

課長　町の方針について選定調書の作成を進める中で、関係する区民の具体的な意見、要望、さらに建設想定地の地主の意向等の内容を踏まえ、総合的に勘案した上で判断する予定である。

大川　飯綱町議会が設置反対署名を行った場合は、広域連合の方針が変わる可能性はあるか。

課長　広域連合から長野市及び飯綱町の両自治体に対し選定調書の提出が依頼されています。調査事項等として、地元の意向や議会の意向など記載することとしており、これらを踏まえた上で、「最終候補地となることを受け入れることができるかどうか判断」を行うことになっている。

大川　議会がこの問題にかかわった場合はどの様に成るか。

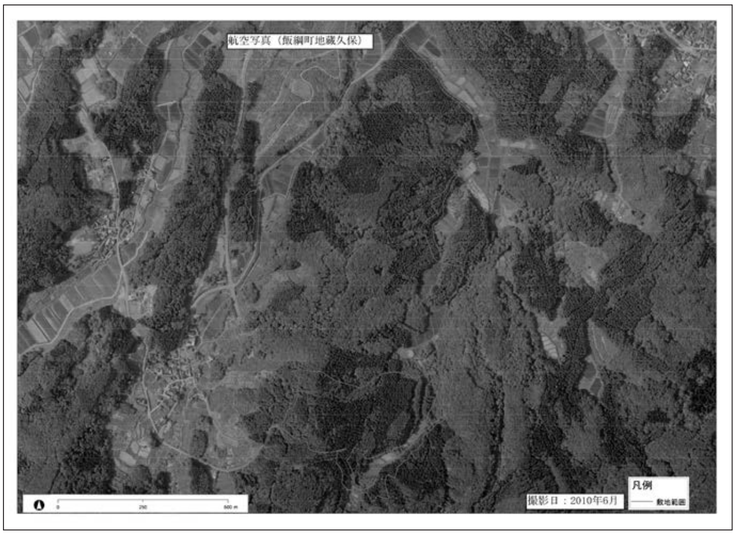
町長　場元がものすごく反対しているが議会が賛成しているからとかその逆の場合など、全く想定外の話では町の今の立場としては議会は議会として地元区は地元区の意向であると正確に提出する考えである。

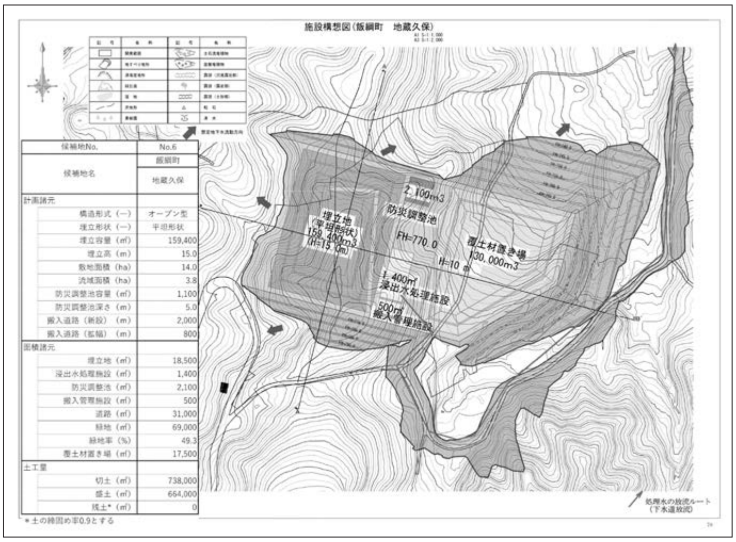
大川　最終処分場が長野広域で決定した後で全ての地元住民を説得するに2年間程かかったとの話であったとの事ですが。

課長　最終処分場エコパーク須坂について候補地を選定してから地元区の基本同意を得るまで約6年間かけて懸念事項等について説明を行った。

町長　広域連合職員と共に町職員も活動する予定である。

▼候補地（飯綱町地蔵久保）





候補地No.		No.6
候補地名		飯綱町 地蔵久保
計画諸元	構造形式（－）	オープン型
	埋立形状（－）	平坦形状
	埋立容量（㎥）	159,400
	埋立高（m）	15.0
	敷地面積（ha）	14.0
	流域面積（ha）	3.8
	防災調整池容量（㎥）	1,100
	防災調整池深さ（m）	5.0
	搬入道路（新設）（m）	2,000
	搬入道路（拡幅）（m）	800
面積諸元	埋立地（㎡）	18,500
	浸出水処理施設（㎡）	1,400
	防災調整池（㎡）	2,100
	搬入管理施設（㎡）	500
	道路（㎡）	31,000
	緑地（㎡）	69,000
	緑地率（%）	49.3
	覆土材置き場（㎡）	17,500
土工量	切土（㎥）	738,000
	盛土（㎥）	664,000
	残土＊（㎥）	0

＊土の締固め率0.9とする

出典：長野広域連合

一般質問

i バスの利便性の向上を

企画課長▶　要望多いので検討したい

伊藤まゆみ 議員

伊藤　利用者アンケート等により運行の見直しを行い、フルデマンドの実証を行っており、利便性の向上に努めていることを評価する。

　これまで強く希望のあった飯綱病院診療日の土曜日の運行は、どのように議論したか。

企画課長　要望多いことは承知している。昨年10月運行について協議したが、運転手不足で無理とのこと。

伊藤　今後への見解は。

企画課長　官民共同など検討したい。

▲町民の足として重宝されるｉバス

町独自の奨学金拡充を

伊藤　学びたい子ども達の支援策として、内容の充実も行われてきた。第2次総合計画で8年度の目標を30人としている。現状は。

教育次長　返済者を含め、現在32人に貸与している。

伊藤　家計を直撃する物価高、実質給与の伸び悩みなどの社会情勢に鑑み、制度充実に対する見解は。

町長　制度の見直しを考えている。返済は月1万円で、10年で免除としているが、町や地域ではマンパワー不足なので、町に帰ってきた時点で免除しても良いか。お金がないから進学できないのは出したくない。

伊藤　入学金についての見解は。

町長　見直しの際には検討したい。

介護に係る要資格者の養成を

伊藤　2月21日付の「しんぶん赤旗」の1面と3面で、高山村で訪問介護の事業所が無くなったと報じた。信濃町では、ケアマネ（居宅介護）と訪問介護を行っていた社協と民間事業所が、それぞれを担う形で分業化すると聞く。

　訪問看護は、自宅で暮らし続けたい方やそれを支える家族にとって、なくてはならないものだ。

　町としても、介護に係る有資格者の確保、養成が課題である。見通しは。

保健福祉課長　有資格者は、不足している。資格取得補助金8人、ケアマネ研修補助金1人支給した。

　マンパワー不足には、長野広域でどの分野で事業進めていくか。単独では難しい。

▲介護予防へ　お茶飲み会

モニターアンケートにお答えします

議会だより第77号（12月定例会）

多くのモニターの皆さんから、声を寄せていただきありがとうございます。
紙面の都合で全部報告できませんが、主な意見とそれへの回答・見解です。

■ 今号の内容や編集について（表紙・見出し・写真・紙面構成など）

Q ・議員定数、報酬の問題は賛否を生みやすいところと思いますが、決定にいたった背景について紙面を割いてしっかり説明されており、わかりやすかったです。

A ・説明責任を果たすことは議会の使命です。検討委員会を何度も開催し、慎重に議論を深めてきました。

Q ・町議会の多様性に関心が高い私にとって今回の議会だよりは非常に興味深いものでした。一般質問の内容もとても充実していると思います。議員が持つ意見、町長の考えが読み取れ、町政に対する安心感が持てました。

A ・政策に取り組む議員にとって一般質問は、最も華やかで意義のある発言の場であり、住民からも重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。

Q ・モニターになって議会だよりの見方が変わりました。表紙を見て、関連記事を読むそしてまた表紙を見る。それを見るとこの写真を撮った方の気持ちが伝わって来て構図がどうのとか専門的なことはわかりませんが、毎回いいなと思います。

A ・モニターになってもらう目的もそこにあると思います。読んでもらえて、分かりやすくをモットーに。表紙の写真も時節柄を皆さんにお届けできるよう、撮影しています。また、表紙はその議会だよりの顔と考えています。

■ 議会だよりを通じて欲しい情報は

Q ・町制20年に当たり、町が今後どのようにしていくのかいろいろな面からの情報がほしい。

A ・今年は合併後、町制20周年に当たります。10月には記念事業が取り組まれます。また、町の第２次総合計画の後期計画の最終年度になります。

Q ・病院事業や上下水道事業が大変であることが分かりました。しかし生活には欠かすことのできない事業であり、今後も引き続き情報をいただきたいです。

A ・地方自治体の、大きな役割は、住民の命とくらしを守ることにあると思います。指摘されている施策は、生活をしていく上で重要な事業ですので、安定・安心した運営ができるよう努めていきます。

■ 議会に対する要望、意見等

Q ・議会全般に言えることは、議員は信念を持って議論、採決に臨んでほしい。反対は否としないが理由を表明すべき。

A ・議会は、住民から選ばれた議員で構成される合議体で、地方公共団体の意思決定をする機関であり、執行機関を監視する機能を担うものです。賛否表明の時点で理由・討論をすべきと考えますが、する・しないの判断は議員各人の考えによります。

Q ・議会での定例会の様子を動画であげ、誰でも見れるようにしたらどうでしょうか。

A ・インターネットの町ホームページ議会情報で一般質問が動画で見られます。

Q ・町の公共施設に太陽光発電システムを設置するとのこと、初めて知りました。再生可能エネルギーの推進にはぜひ町全体で力を入れてほしいです。

A ・町では、飯綱町地域新エネルギービジョンを策定し、太陽光発電や、中小水力発電に取り組んでいます。今年は芋川用水を利用した水力発電が稼働します。

Q ・一般質問の内容は住民からの意見がどの程度反映されているのか「新しい町づくりへ 私の提案」には貴重な意見等があると思うがこれらに対しての町長・議員の考えを載せてほしい。

A ・一般質問等で取り上げるようにしています。また、「あのときのあの質問どうなった」のページでは、その後の動向を追跡をしています。

Q ・議員報酬に関して、私も全国平均レベルで良いと思う。

A ・議員定数・報酬等調査研究特別委員会で議論した結果です。今後はそれに見合った議会力が求められます。また、なり手不足対策にもなるのではと思います。

■ 今、お気づきのことはありますか？

Q ・議会だよりが発行された後、新聞の広告で（議員個人発行の）議会だよりが入りました。「多様な意見」は尊重しますが、議員同士が紙面にもあるように「建設的な議論」を行っていただきたいと思います。

A ・地方自治は「民主主義の学校」とも言われ、住民に最も近い民主主義の原点とされています。住民の多様性を反映した合議体であることを自覚していかねばと思います。

学ぶ議会

新たな農産物のヒント・農産物の輸入作業 少子化対策、視察・研修
（総務産業・福祉文教常任委員会合同視察・研修）

令和７年２月17日㈪～ 19日㈬

㈱上組神戸支店 （兵庫県神戸市中央区港島８－１）

説明者
㈱上組神戸支店　加藤 尚　代表取締役社長
石井 剛　神戸支店青果部長
山口 文明　神戸支店青果部長

視察の目的　農産物の輸入作業は。

▶**概要**　総合物流企業としては国内有数の企業であり、神戸支店は、保税地域の一つとして外国貨物の受け入れと国内引取業者への引き渡しを行っている。

▶**感想**　輸出関連の視察ができなかったが、飯綱町のりんごのほとんどが国内消費される現状であるが、青森県のように「輸出」についてもJAを中心に検討の余地はないかとの思いを持った。

岡山県奈義町役場 （岡山県勝田郡奈義町豊沢 306 － 1）

説明者　小坂 昌平　情報企画課（兼未来創造課）参事

視察の目的　少子化対策で全国的に注目されている町の状況（合計特殊出生率2.95）は。

▶**町の概要**　平成14年に平成の大合併の際、町民投票で「単独町制」を選択。
面　　積：69.52km^2（飯綱町：75km^2）　　人　　口：5560人（飯綱町：10237人）
世　　帯：2438世帯（飯綱町：4222世帯）
町の特色：自衛隊（日本原駐屯地、日本原演習場14.66km^2）あり。

▶**感想**　自衛隊員が多く滞在しており、若者層の人口が多いことも事実のようだ。全国的にも注目され、視察が絶えないようで、「毎週火曜日の午後」に一斉視察受け入れを行っている、「子育ては町全体で」との意識が町民に浸透していることを強く感じた。

㈱神田育種農場　中央研究農場 （奈良県桜井市生田 269 － 1）

説明者
堀川 栄基　育種開発部課長、小田 哲也　営業開発部課長

視察の目的　当町での新たな農産物のヒントはないか。

▶**会社概要**　日本の一代交配スイカ育種に大きく貢献した神田武（初代）により、1951年（昭和26年）に創業。以来60余年、スイカ・メロン・キュウリ・カボチャ・台木等のウリ科野菜専門種苗メーカーとして、優良品種の育種開発・生産・販売・輸出を行っている。

▶**感想**　飯綱町のりんごは、ようやく特産地化しているが、高い収入を得るにはこの特産地化が必要である。大きな気候変動の中でのりんご栽培も今のままで生産され続けられるとは考えられない。りんごに続く農産物の可能性を今後も検討していく必要があると感じた。

町民の声

新しい町づくりへ 私の提案

第38回

私の故郷

伊藤 陸羽 さん
（普光寺）

私は飯綱町の良さとして人のあたたかさが挙げられると思います。私は先日、飯綱中学校を卒業させていただきましたが毎朝、通学路を歩いていて通りかかった方にあいさつをするとたくさんの方が笑顔であいさつを返してくれます。小学生の時から合わせて9年間、地域の方々に毎朝元気をもらっていました。他にも飯綱町は豊かな自然も魅力の一つだと思います。この自然の豊かさを町内に限らず町外にも発信できれば町がより活性化するのではないかと思います。最終的には若い世代の方や町外の様々な方に「飯綱町に住んでみたい」と思ってもらえるような町になってほしいなと思います。そして自分たちはこの飯綱町という故郷を誇りに思って新たなステージに進んでいきたいです。

地域の祭りの伝統をつなぐ

原田 洋介 さん
（平出）

コロナ禍で4年間、平出の祭りの伝統を担う子供たちの獅子舞の練習が中断を余儀なくされた。再開に向けた話し合いの際、コロナ以前より時間や内容が短縮されることが報告され、再開は決まったが、コロナ前の練習を知る子供はわずか1名。今年は子供の獅子舞はなくても良いという声もあった。練習の成果を発表する場がなければ子供たちはやる気を失ってしまう…「4週間あれば子供たちは獅子舞を舞えるようになる」と伝え、練習日程が組まれた。

練習が始まると子供たちは真剣に取り組み、時間外に自主練をする子たちも現れ、私もそこに向き合い指導を行った。日に日に上達し、1か月前まで獅子を触ったことがない子供たちが本番では見事に20分間を舞い切り、やり遂げた子供たちの目には自信が満ち溢れ、伝統がつながっていく希望を感じた。

祭りの伝統を強要するのではなく、子供たちと向き合い楽しさを共有する。それが伝統をつなぐことになっていくのではないでしょうか。

新しいまちづくりへ

星野 洋子 さん
（川上）

私は、この飯綱町に移住して、早5年になります。

カフェをオープンさせて3年がたちました。

空気もおいしく、のどかで町の人たちの温かい心、やさしさに触れてまいりました。

店を開け、いろいろなお客様とワンちゃんに触れている中、もっと何かこの町を盛り上げていく事はないだろうかと考えます。

少し前に民泊の話を伺うことがあり、空き家を利用することはできないか考えました。町の繁栄には、外から多くの人を呼べる民泊事業を繁栄させていけたなら、もっともっと街に人を呼べるのではないかと思います。

私だけでなく、いろいろな方々の力を借りて進めていったら、もっと豊かな町になるのではないでしょうかと思います。

議会白書・政策サポーター制度 その他について

議会運営の最高規範である飯綱町議会基本条例は、平成28年9月26日に改正してから、条文追加や改正は行われていません。住民の皆さんの関心事でもあるかと存じますが、私たち議員各自の活動については、第16条に議会白書の項目として取り上げています。最新のものは9月に公開予定ではありますが、議会事務局のホームページからご覧いただければと思います。

第16条 議会は、町民に対し、議会及び議員の多様な活動内容を公表し、情報を共有することにより、議会改革を一層前進させ議会活動の活性化を図る。

2 議会は、議会の基礎的な資料・情報、議会活動の評価等を1年ごとに調製し、議会白書として町民に公表する。

3 議会は、議会の活性化の取組に終えんがないことを常に認識し、議会としての評価を1年ごとに適正に行い、その結果を町民に公表する。

4 議会白書及び議会としての評価に関する必要事項は、議長が別に定める。

また、前号で募集しました政策サポーターについては、メンバーが決まり次第、会議を進めて参ります。

※「政策サポーター制度」とは

第7条 議会は、政策提言活動に積極的に取り組む。その際、町民目線での政策研究の一環として「政策サポーター制度」を創設することができる。

議員定数と報酬は先の12月定例会で改正となりました。次期、飯綱町議会から適用となります。

議会だよりモニター 生の声 39

三ツ井 善文さん（倉井）

介護制度の重要性

今、飯綱町の社協さんには老齢な父がお世話になっております。

昨年、母が亡くなりましたが、母も2年間デイサービスに週2回、ショートステイも利用させて頂きました。

認知症と障害のあった母の介護は大変でした。仕事・日々の生活に支障が出るのは必然でしたが、施設で面倒を見てもらっている日だけは、介護から解放され、普通の生活に戻りました。

現在は父が施設にお世話になっていますが、当人も家族も大変ありがたく感じています。

又、昨今の介護施設では、介護する人が足りないとよく聞きます。私たちがお世話される側になった場合には、介護現場がどうなっているのか不安です。

年金も、減る一方で働ける限りは働き続ける時代となり、後期高齢者に近づく程、不安でなりません。俗にいうピンピンコロリが理想ですが、誰もがそうはいきません。

いつかはお世話になる介護の重要性を感じます。高齢者には、介護制度の充実が何より重要なことではないでしょうか。

6月定例会予定

6月2日～6月20日(19日間)

一般質問　6月4日(水)・6月5日(木)

常任委員会　6月6日(金)・6月9日(月)

78号表紙説明

小学校課程から中学校課程へと進み、希望と不安が入り混じった感情を胸に抱く中で、クラス発表がありました。門出に際し、切磋琢磨しながら多くの友人と充実した中学校生活を送って欲しいと願います。

編集後記

峯村町政として最後となる令和７年度予算も可決され、本年は町制20周年でもあり各種事業が予定されています。世界情勢に目を向けると不安定極まりないですが、今年度予算には、各種事業への補助事業もあります。物価高の昨今を乗り越えていきましょう。（石）

編集委員

発行人	青山　弘	委員	三ツ井 忠義
委員長	石川　信雄	委員	小林　文廣
委員	渡邉 千賀雄	委員	伊藤 まゆみ

発行／長野県飯綱町議会　編集／議会報編集調査特別委員会　発行責任者／青山 弘

〒389-1293 長野県上水内郡飯綱町牟礼 2795-1　TEL.026-253-4761　Email：gikai@town.iizuna.nagano.jp　印刷／第一企画株式会社